

平成 25 年度 第 2 回

通気式生ごみ保管排出容器  
(生ごみカラット)  
モニタリング調査結果報告

新宿区環境清掃部生活環境課  
(平成 26 年 3 月)



## 1 第2回モニタリング調査について

平成25年7～8月の夏期にモニタリングを行い、さらに冬期にモニタリングを行うことで、調査内容を多角的に検証する。モニターについては、四谷、牛込、新宿西の各清掃協力会に依頼し、実施する。調査方法等は前回同様で、実施の時期は平成25年12月～翌年1月の2ヵ月とし、結果を区へ報告してもらう。

## 2 実施状況

【参加数】 27名  
説明会：区役所6F  
※講師は前回と同じ。

【結果報告等】  
報告 22名（回収率 81%）  
未提出 5名

アンケート回収 15名（回収率 56%）

# モニタリングの結果（第2回）

## \* 調査結果数値

モニター数（軽量結果報告者数）	22名
記録回数	425回
ごみの総重量（乾燥前）：A	118,745g
ごみの総重量（乾燥後）：B	89,731g
生ごみの減少量：C（A-B）	29,014g
減量率：C/A	24.4%

※結果数値の詳細は「記録一覧表」のとおり



第1回と第2回を  
比較してみたら…

	乾燥平均日数	平均減量率
第1回（夏期）	2.8日	32.2%
第2回（冬期）	5.1日	24.4%

※夏期&冬期の平均減量率は 28.3%



乾燥日数に注目!!

夏期、冬期の2回でモニタリングを実施したところ、上記のような結果が出ました。

この結果から、夏期は日差しが強く短い日数で生ごみを乾燥させることができますが、冬期は空気が乾燥していても生ごみは「乾燥しにくい」ことがわかりました。各回とも生ごみを乾燥させる日数について決まりはなく、それぞれのモニターの方の判断による結果ですが、冬期の方が生ごみの乾燥に長い時間を要したようです。

さらに、減量率を各回のモニタリング記録一覧表から見ると、7.1～69.6%とバラつきがあるものの、平均はともに3割前後となりました。

冬期のモニタリングでは、「水分を絞ることは減量効果を高め良いことだが、思ったより乾燥しなかった」「ごみをすぐ出せない」「『生ごみカラット』に頼らない方法もあるのでは」との意見のほか、夏期のモニタリングと同様に「生ごみの水分の減量に対する意識の変化があった」との意見もいただきました。

このような結果から、生ごみを乾燥させるのは、ごみの減量を推進していくうえで、とても有効な手段であると考えられます。今後も、生ごみは「よく絞ってからごみを出す」、「水に濡らさず、乾燥させる」など、区民が気軽に取り組める減量対策を広く周知し、実践していく必要があります。

## ・\*\*\* アンケートの結果 \*\*\*

提出 15名

質問1 生ごみの水切りを普段から行っていましたか？

(a) モニターになる前から行っていた	6人
(b) モニターになってから行うようになった	9人

質問2 生ごみカラットを使う手間をどのように感じられましたか？

(a) 特に手間は感じなかった	9人
(b) 多少手間に感じた	4人
(c) 大変手間に感じた	2人

その理由

- ❖残飯や魚等入れてはいけないものも多く、手間がかかった
- ❖手間がかかる割に意味のないことをしている気がした
- ❖新聞紙の準備が手間だった
- ❖生ごみだけを集めるのが手間だった

質問3 生ごみの減量効果について、率直にどうお考えですか

- ❖このように減るとは思わなかった
- ❖一人一人が自覚を持ち、減量に協力していかなければと思う
- ❖新聞紙分が（生ごみに）増えるので、減量効果があるのかわからない
- ❖思ったほど乾燥しない
- ❖常にごみに含まれる水分を気にするようになった

質問4 生ごみカラットを使用しているときに、臭いや虫などは気になりましたか。

- ❖カラスがきて食い散らかしていく
- ❖寒い時期なので臭いも虫もつかなかった
- ❖臭いもなく問題なかった
- ❖気にならなかった

質問5 生ごみカラットを使用している中で、ご自身で意識されたことや工夫されたことはありましたか。

- ❖生ごみを少量づつ新聞紙に包んだので、よく乾燥したように感じた
- ❖果物の皮や野菜の芯は、カットしてから干した
- ❖家の中の暖房を利用した

**質問6 乾燥させた生ごみはどのように処分されましたか**

(a) 燃やすごみとして処分した	11人
(b) 堆肥化に利用した	2人
(c) その他	0人

**質問7 今後も生ごみカラットを使用したいと思えますか**

(a) 使用したい	8人
(b) 使用しない	2人
(c) わからない	1人

その理由

- ❖自分のやり方（水分を出し切る）の方がやりやすい
- ❖すぐに処分できないから

**質問8 今後、ほかの方にも生ごみカラットの使用を薦めたいですか**

(a) 薦めたい	8人
(b) 薦めたいと思わない	4人

その理由

- ❖自分のやり方の方がやりやすい
- ❖カラットなしでも乾燥できる
- ❖誰もが「良いこと」と言うが、必ず「面倒」と言われる
- ❖自分が面倒と思うので、薦められない

**質問9 その他お気づきになった点やご意見・ご感想をお聞かせください**

- ❖慣れないため、食材を洗ったりした
- ❖最初は続くかどうかと思ったが、慣れると苦にならず、ひとつの流れとして処理できた
- ❖冬場で乾燥率は悪かった
- ❖慣れると苦にならず、ひとつの流れとして生ごみ処理ができている
- ❖乾燥させた生ごみを堆肥化し、植木等に使用していきたいと思った

※アンケート中、各設問に未記入の方は回答数に計上していない。

平成25年度 第2回(冬期)

生ごみカラット使用モニター 記録一覧表

	世帯人数	記録回数	生ごみの重量		減少量:C (A-B)	減量率(C/A× 100)%
			乾燥前:A	乾燥後:B		
1	1人	16回	5,270g	2,960g	2,310g	43.8%
2	4人	31回	4,850g	3,475g	1,375g	28.4%
3	5人	3回	1,060g	980g	80g	7.5%
4	4人	31回	4,970g	3,865g	1,105g	22.2%
5	2人	14回	4,100g	3,680g	420g	10.2%
6	2人	18回	6,747g	4,662g	2,085g	30.9%
7	2人	18回	7,955g	6,370g	1,585g	19.9%
8	1人	23回	2,225g	1,560g	665g	29.9%
9	6人	31回	7,800g	5,560g	2,240g	28.7%
10	3人	31回	8,280g	6,670g	1,610g	19.4%
11	1人	7回	2,420g	1,500g	920g	38.0%
12	4人	31回	14,166g	10,686g	3,480g	24.6%
13	3人	7回	2,700g	2,155g	545g	20.2%
14	2人	30回	11,160g	9,070g	2,090g	18.7%
15	2人	16回	3,529g	2,063g	1,466g	41.5%
16	3人	25回	9,859g	8,856g	1,003g	10.2%
17	3人	22回	2,785g	2,250g	535g	19.2%
18	4人	18回	10,460g	8,430g	2,030g	19.4%
19	1人	12回	1,771g	1,329g	442g	25.0%
20	4人	22回	3,131g	1,764g	1,367g	43.7%
21	2人	10回	1,222g	371g	851g	69.6%
22	5人	9回	2,285g	1,475g	810g	35.4%
計		425回	118,745g	89,731g	29,014g	24.4%